

Floristry フラワー装飾

知識と技能を駆使して美しい花の魅力を引き出す

フラワー装飾は、生花を中心としたアレンジメントや花束の制作、冠婚葬祭やウィンドウディスプレイ装飾をデザイン制作するための技能です。競技では支給された花材と資材を使い、花束、ブライダルブーケ、アレンジメント等を制作します。優れたデザイン性や独創性、そして色彩感覚をカタチにする技能が必要とされるのはもちろん、花を含めた植物を扱うため、植物等に関する基礎知識も求められます。美しい花がより魅力的になる過程に注目です。

競技について 競技時間：2日／6時間

競技課題は4課題です。1日目は①当日発表される課題の「サプライズ競技①：花束」の制作、②仕様に沿った「フラワーアクセサリー(ネックレス)」の制作、③当日発表される課題の「サプライズ競技②：アレンジメント」の制作、2日目は④「ブライダルブーケ」の制作があります。テーマに沿って自分の世界観を表現する作品の制作。インスピレーションによる対応力が必要です。また基礎技術やテクニックに加え、アイデアや独創性、色彩や表現力が問われます。

競技職種と生活との関わり

花束やブライダルブーケ、フラワーアレンジメントは、母の日や父の日、誕生日などのイベントごとを華やかに演出してくれます。結婚式やパーティー、あるいは葬儀場などの装飾には花がつきもの。シーンに合わせた装飾を検討し、イメージにぴったりの作品を作る技術が求められます。フラワーショップでの生花の販売員として従事する場合は、フラワーアレンジを求められる場面が多く、確かな技能を生かして、お花の専門家として第一線で活躍することができます。

優れた感性で花材に向き合い、 丁寧かつスピーディーにイメージをかたちにする！

ポイントは自らのイメージを作品にどれだけ反映させられるかです。そのためには、それぞれの課題で求められるスキルを確実にこなすことに加え、課題への理解と創造性のバランスを取ることが求められます。また、植物それぞれのキャラクターを理解することや、花材を傷めることなく取り扱うための知識も必要です。これらがあって初めて、花の魅力を引きだすことができます。同じ種類の花が、選手によって異なるアレンジへと変化していきます。

河合 透 主査 フラワー装飾技能検定中央協議会



一步踏み出してみても、やることで、いろんな道がひらけていくと思います！

前回大会 金メダリスト！

松田 睦輝さん
(株)エス・ケイ花企画



<2023年大会 競技課題>